

アイ エステティック専門学校情報公開

(2016年度自己点検・評価結果)

目 次

1. 理事長挨拶
2. 中村学園について
 - 2-1. 学園の誕生
 - 2-2. 学園の歩み
 - 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先
3. 学園の財務状況
 - 3-1. 資金収支計算書
 - 3-2. 貸借対照表
4. 学校長挨拶
5. 学校について
 - 5-1. 学校の歩み
 - 5-2. 学校の所在地と連絡先
6. 教育
 - 6-1. 学生状況
 - 6-2. 主要検定合格率
 - 6-3. 卒業後の進路
 - 6-4. 教育課程編成委員会
 - 6-5. 教職員研修
 - 6-6. 教職員・講師
7. 学生支援
 - 7-1. SAM活動及びクラブ活動
 - 7-2. カウンセリング
8. 危機管理
9. 国際連携・地域貢献など
10. 自己評価

1. 理事長挨拶

お蔭様をもちまして、中村学園が誕生して、70年目を迎えます。
戦後間もない昭和22年洋裁の技術指導を目的として設立された中村洋裁研究所が現在の学園の基盤となっております。
時代の流れと共に新しい分野の専門学校展開を図ってまいりましたが、その教育に対する精神は、一貫しており、技術を身につけ、常に自信をもって社会に貢献でき、相手の立場が理解できるホスピタリティ精神の醸成を図る事があります。学園の大きな改革の始まりは1987年（昭和62年）に行った洋裁の技術指導から観光産業に従事する学生の育成への転換でありました。
その後、動物分野、美容分野、製菓分野へと進展を図ってまいりました。
それぞれの時代で学園を支える多くの教職員があつて現在の中村学園があると常に感謝いたしております。現在では、5校合わせて約1,700名の学生が夢を果たすために、日夜努力を重ねており、教職員はその夢の実現をサポートする日々を送っております。
現在は以下5校の運営を行っております。「国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校」「専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園」「アイ エステティック専門学校」「ハッピースイーツ製菓専門学校」「ジェイ ヘアメイク専門学校」であります。
これからも、さらに専門教育指導の充実を図り、学生にとって「明るく 楽しく 元気よく」をモットーに充実した学園生活を送る事が出来る専門学校を目指してまいります。

中村学園 GRAND CREDO

おもてなしと感謝の心で、夢をカタチに

2017年4月1日

学校法人 中村学園

理事長 中村 洋子

2. 中村学園について

2-1 学園の誕生

1947年（昭和22年）、名誉理事長中村あいが教育機関として「中村洋裁研究所」を開設いたしました。以来、本日まで専門教育に携わり教育に対する取組む姿勢は常に技術指導、技能習得を通して人格形成をはかり、時代が求める職業人の育成でありました。開校以来70年その理念は現在に受け継がれ37,000人以上の卒業生を送り出し、それぞれの分野の第一線で活躍し社会に貢献しています。

2-2 学園の歩み

- 1947年12月22日 「中村洋裁研究所」開所。
- 1951年 財団法人中村学園として発足、中村ドレスメーカー女学院へ改称。
- 1966年 学校法人中村学園として認可、旧1号館校舎が完成。
- 1976年 専修学校認可により中村ドレスメーカー専門学院に校名変更。
- 1977年 中村学園ビル（7階建）が完成。
- 1985年 学校法人森谷学園と教育提携を行い旅行科の設置を決定。
- 1987年 校名を国際トラベル・モード専門学校と改め、旅行科を新設。
- 1988年 国際トラベル・モード専門学校の旅行科専用校舎2号館が完成。
㈱ナカムラを設立。
- 1993年 国際女子ビジネス専門学校と国際トラベル・ホテル専門学校の2校に分離、
国際トラベル・ホテル専門学校のホテル科専用校舎3号館が完成。
- 1996年 国際女子ビジネス専門学校をCIB国際ビジネス専門学校に改称。
- 1997年 ちば愛犬動物学園を認可外学校として㈱ナカムラ内に設立。
- 1999年 CIBを閉校。ちば愛犬動物学園が専修学校として認可。
- 2000年 ㈱ナカムラ内に「ちば留学センター」を開設。
- 2002年 専門学校ちば愛犬動物学園の実習校舎として5号館を購入。
- 2003年 専門学校ちば愛犬動物学園のおゆみ野校舎（実習校舎）が完成。
- 2004年 専門学校ちば愛犬動物学園の長柄キャンパス（1万坪）・校舎が完成。
- 2005年 専門学校ちば愛犬動物学園の千葉校舎として新1号館が完成。
- 2007年 国際トラベル・ホテル専門学校の付帯事業としてズーフェニクスアカデミー千葉校を開設、
幼児の英語教育を開始。
アイエステティック専門学校を開校。
国際トラベル・ホテル専門学校の実習校舎8号館が完成。
- 2011年 アイエステティック専門学校をアイエステティック美容専門学校に改称。
- 2013年 専門学校ちば愛犬動物学園を専門学校ちば愛犬動物フラー学園に改称。
国際トラベル・ホテル専門学校を国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校に改称。
中村学園総合校舎Nタワー（9階建）が完成。
- 2014年 ハッピースイーツ製菓専門学校を開校。
- 2015年 アイエステティック専門学校を開校。
- 2016年 アイエステティック美容専門学校をジェイヘアメイク専門学校に改称。

2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先

(1) 学園

学園本部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL : 043-242-0778 FAX : 043-242-0541

総務部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL : 043-242-0467 FAX : 043-242-2916

(2) 学園グループ

株式会社ナカムラ

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL : 043-248-8011 FAX : 043-241-4480

センターTEL

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 中村学園Nタワー2階

TEL : 043-248-8011 FAX : 043-241-4480

<http://www.chiba-ryugaku.jp/>

ズー・フォニックス・アカデミー（株式会社ナカムラ本社）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL : 043-238-2081・0120-026-081

<http://chiba.zoo-phonics.jp>

e-mail chiba@zoo-phonics.jp

3. 学園の財務状況

3-1. 資金収支計算書 (2016年4月1日から2017年3月31日)

単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,992,331	2,011,683	△19,352
手数料収入	21,747	15,660	6,087
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	16,462	16,462	0
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	9,704	△9,704
受取利息・配当金収入	2,900	18	2,882
雑収入	30,097	19,539	10,558
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,733,159	1,016,640	716,519
その他の収入	177,554	2,021,697	△1,844,143
資金収入調整勘定	△1,039,081	△1,042,807	3,726
前年度繰越支払資金	1,489,231	1,489,231	—
収入の部合計	4,424,400	5,557,827	△1,133,427
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	993,185	994,848	△1,663
教育研究経費支出	421,226	377,675	43,551
管理経費支出	317,377	299,555	17,822
借入金等利息支出	3,815	2,693	1,122
借入金等返済支出	120,000	120,000	0
施設関係支出	0	1,538	△1,538
設備関係支出	44,000	5,013	38,987
資産運用支出	0	28,351	△28,351
その他の支出	448,120	2,086,801	△1,638,681
資金支出調整勘定	△12,500	△58,858	46,358
翌年度繰越支払資金	2,089,177	1,700,211	388,966
支出の部合計	4,424,400	5,557,827	△1,133,427

予算－決算＝差異

3-2. 貸借対照表(2017年3月31日)

単位：千円

科目		本年度末	前年度末	増減
資産の部				
固定資産		4,934,964	5,095,945	△160,981
	有形固定資産	4,765,953	4,953,734	△187,781
	特定資産	101,233	101,232	1
	その他の固定資産	67,778	40,979	26,799
流動資産		1,709,833	1,514,855	194,978
資産の部合計		6,644,797	6,610,800	33,997
負債の部				
固定負債		90,000	210,000	△120,000
	長期借入金	90,000	210,000	△120,000
流動負債		1,490,728	1,532,259	△41,531
負債の部合計		1,580,728	1,742,259	△161,531
純資産の部				
基本金		6,421,746	6,309,401	112,345
	第1号基本金	6,321,746	6,209,401	112,345
	第3号基本金	100,000	100,000	0
繰越収支差額		△1,357,677	△1,440,860	83,183
純資産の部合計		5,064,069	4,868,541	195,528
負債及び純資産の部 合計		6,644,797	6,610,800	33,997

- (注) 1. 減価償却額の累計額の合計額 1,591,673 千円
 2. 徴収不能引当金の合計額 4,338 千円
 3. 担保に供している資産の内訳
 千葉市中央区新宿 2-11-5 学校用地
 同 上 建 物 (3号館)
 千葉市中央区新宿 2-14-17 学校用地
 千葉市中央区新宿 2-14-13 学校用地
 同 上 建 物 (1号館)
 4. 退職金引当金
 期末退職金の要支給額 201,000 千円は、千葉県私学教育振興財団よりの
 交付金と同額のため、退職給与引当金は計上していない。
 5. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行う金額 345,252 千円

4. 学校長挨拶

「ホスピタリティ豊かな、世界に通用する技術を持った人材育成」を教育理念とした本校は、一般社団法人日本エステティック業協会の認定校として、インナービューティという視点から教育プログラムを2007年に導入しました。技術教育の中心はエステティックですが、その後業界ニーズの多様化に合わせて、アロマ・メイク・ネイル・ブライダルと教育内容を拡大し、今日に至っております。

本校では、知識や技術と共に、卒業後も活かしていける「美しい人生を創る生活習慣」を身につけ、人として成長することを重視しております。その生活習慣を支える考え方こそが、インナービューティなのです。

本当の美しさは、内面から生まれる

内面の美しさが、身体の美しさを生む

身体の美しさを、美の技術で完成させる

このステップが生涯にわたるライフタイムビューティにつながります。
それを身につけられるのが、本校ならではの教育カリキュラムです。

毎年実施している学校生活アンケートにおいても、「授業内容に満足している」と回答している学生が5年連続で70%を超えております。これは本校の教育方針が学生に共感を得られているものと捉え、今後とも教職員一同で教育内容の維持向上に努める所存です。どのような環境であっても社会が求めている専門学校教育は不変です。社会で通用する人材育成と、業界が必要とする確かな技術力育成を、教育の柱として、皆様から信頼される学校運営を行ってまいります。

2017年4月1日

アイ エステティック専門学校

校長 **前田 毅**

5. 学校について

5-1. 学校の歩み

- 2006年 国際トラベル・ホテル専門学校ホテル科にエステティックコースを設置してエステティシャン養成教育開始
- 2007年 エステティックコースを独立させインナービューティ科として、アイ エステティック専門学校設立。同時にアロマ&セラピストコース及びメイクアップアーティストコースを設けアロマセラピーとメイクの教育開始
- 2009年 ブライダルビューティコースを設けブライダル教育開始
- 2010年 夜間部を設置。
ネイリストコースを設けネイル教育開始
- 2011年 美容師学科を設置して美容師教育開始
これに伴い、アイ エステティック美容専門学校に校名変更
- 2014年 新校舎（Nタワー）完成に伴い学校移転。更に充実した実習施設環境で授業を開始
美容師学科が職業実践専門課程として文部科学大臣認可
- 2015年 アイ エステティック美容専門学校のインナービューティ科が独立し、
アイ エステティック専門学校として開校

5-2. 学校の所在地と連絡先

学校本部（Nタワー）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-3

〈教務・就職〉 TEL：043-242-0071 FAX：043-242-0470

〈学務・広報〉 TEL：043-242-0073 FAX：043-242-0078

〈入学相談室〉 0120-461-901 フリーダイヤル

ホームページ <http://www.aie.ac.jp>

e-mail aie@nakamura.ac.jp

6. 教育

6 - 1. 学生状况

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2014 年度	-	-	-	-	-
2015 年度	141	133	8	122	19
2016 年度	116	108	8	108	8

1 年生	年初在籍	退学		途中休学
	学生総数	退学数	退学率	休学数
	116	16	13.8%	0
2 年生	年初在籍	退学		途中休学
	学生総数	退学数	退学率	休学数
	126	3	2.4%	0
合計	年初在籍	退学		途中休学
	学生総数	退学数	退学率	休学数
	242	19	7.90%	0

6-2. 主要資格・検定合格率

検定名	級	2014年度	2015年度	2016年度
AEA 認定 エステティシャン試験	ボディ	—	—	—
	フェイシャル	—	—	—
	筆記	—	—	—
AEA 上級認定 エステティシャン試験	ボディ	100%	100%	95.1%
	フェイシャル	100%	100%	100%
	筆記	95%	95%	95.2%
日本エステティック センター試験	ボディ	97%	99%	97.3%
	フェイシャル	97%	98%	95.6%
	筆記	97%	100%	95.7%
JMA メイクアップ技術検定試験	2級	91%	84.2%	85%
	3級	95%	100%	91.9%
アロマコディネーター ライセンス試験	資格	96%	98%	97.1%
ネイリスト技能検定	1級	29%	61.5%	62%
	2級	21%	100%	100%
	3級	83%	100%	92.6%
食生活アドバイザー	3級	—	—	—
JHRS 認定リフレクソロジー プロライセンス実技士	筆記	90%	83.3%	84%
	実技	79%	83.3%	83.7%
秘書技能検定	2級	—	—	—
	3級	—	—	—
パーソナルカラー検定	モジュール1	90%	—	—
	モジュール2	80%	—	—
パーソナルカラー検定	3級	—	85%	88%
パーソナルカラー検定	2級	—	87%	80%
アシスタントブライダル コーディネーター試験	筆記	90%	—	85.7%

7-3. 卒業後の進路

①進路

卒業年度	卒業生数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2014年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015年度	112	108	108	96.4%	105	3	11	97	-	-	-
2016年度	123	116	116	94.3%	116	0	14	102	-	-	-

※2015年度より開校しているため在籍は1年生のみとなります

②職業分野内訳

		2014年度	構成比	2015年度	構成比	2016年度	構成比
関連分野	エステティシャン	-	-	52	48.0%	55	47.4%
	セラピスト	-	-	18	16.0%	20	17.1%
	美容部員	-	-	18	16.0%	16	13.7%
	ブライダル関連	-	-	4	4.0%	11	9.4%
	ネイリスト	-	-	10	8.0%	13	11.1%
	その他	-	-	3	3.0%	1	0.7%
	分野外	-	-	3	3.0%	0	0%
合計		0	0%	108	100%	116	100%

③主な就職先

株式会社 不二ビューティ	資生堂 ジャパン株式会社
TBCグループ 株式会社	株式会社 コーセー
株式会社 ソシエ・ワールド	花王 株式会社
株式会社 ミスパリ	株式会社 P&G
株式会社 スリムビューティハウス	日本ロレアル 株式会社
株式会社 日本ビューティコーポレーション	E L G C 株式会社
株式会社 ピューサーサービス	シャネル 株式会社
株式会社 スイート・ピア	株式会社 伊勢丹ミラー
株式会社 ザ・フォーウルビ	株式会社 そごう・西武
株式会社 ニューアート・ラ・パルレ	株式会社 アルビオン
株式会社 PMK	株式会社 ディアーズブレイン
株式会社 ビクトリー	株式会社 曾我
株式会社 ニューアート・ラ・パルレ	株式会社 アクアグラツィエ
株式会社 リフレッシュ	株式会社 マリーマール
株式会社 ボディワークホールディングス	株式会社 レッドネイルズ
株式会社 オリーブスパアカデミー	株式会社 ノンストレス
株式会社 ベアハグ	株式会社 ラウンジ
株式会社 エーワン・ホールディングス	株式会社 Mスラッシュ

6-4. 教育課程編成委員会

教育課程編成委員会の委員名簿

インナービューティ科 教育課程編成委員

No.	氏名	所属	任期
1	萩原 直見	NPO 法人日本ネイリスト協会理事・法制委員会委員長・名誉本部認定講師	2年
2	柴山 佳之	一般社団法人 日本エステティック業協会教育委員会 委員	2年
3	中野 貴子	一般社団法人 日本エステティック業協会 養成校視察官	2年
4	前田 毅	アイ エステティック専門学校 校長	2年
5	佐野 美幸	アイ エステティック専門学校 本部長補佐 教務室長	2年

教育課程編成委員会開催記録

日時	2017年2月28日(火)10:30~12:30	場所	Nタワー1階会議室	記録	佐野
出席者	<p>萩原 直見 (NPO 法人日本ネイリスト協会 理事・法制委員会 委員長 名誉本部認定講師)</p> <p>柴山 佳之 (一般社団法人 日本エステティック業協会 教育委員会 委員)</p> <p>中野 貴子 (一般社団法人 日本エステティック業協会 養成校視察官)</p> <p>前田 毅 (アイエステティック専門学校 校長)</p> <p>佐野 美幸 (アイエステティック専門学校 本部長補佐 教育室長)</p>				
	<p>1. 議題</p> <p>(1) 職業実践専門課程の現状報告</p> <p>(2) カリキュラム、学生指導について報告</p> <p>(3) 企業連携について確認</p> <p>2. 概要</p> <p>(1) 職業実践専門課程の意義、設定要件等について学校長の前田より説明</p> <p>①全国 833 校、2540 学科が認定</p> <p>②全国の同分野の認定校、学科を確認</p> <p>(2)カリキュラム就職状況について佐野より報告</p> <p>①学生状況・就職状況</p> <p>学生数1年生 116 名、2 年生 124 名 年初合計 240 名</p> <p>2 年生:就職状況 124 名中 116 名内定</p> <p>トータルビューティの分野は売り手市場が継続している為 1 年時より就職活動が始まり、早い時期での内定が決定しているが、活動時期が早い事で企業研究が浅くなり離職が早まることも課題である。</p> <p>②カリキュラムについて</p> <p>シラバスにもとづきカリキュラムを確認</p> <p>※企業側からのご意見</p> <p>Q:シラバスの記載方法は決まっているのか?</p> <p>A:フォーマットは決定しているが、記載方法が決定していなかった為至急修正をしていく。</p> <p>Q:IT の授業を取り入れているが、企業のニーズをとらえているか?</p> <p>A:新入社員に向け必要なスキルを把握し、授業に取り入れていけるよう講師と打合せをしたい。</p> <p>Q:実習授業で重視している点はどのような事か?</p> <p>A:技術力、知識はもちろんであるが、接客で必要な心構えを実習授業内でも力を入れて指導している。</p> <p>Q:検定試験の対策はどのようにされているか?</p> <p>A:授業として年間指導を実施し、試験前に模擬試験も実施し対策している。</p> <p>Q:フィニッシングアップショーはどのような行事か?</p> <p>A:2 年間習得した技術や知識をもとに自身をセルフプロデュースし技術披露する行事となっている。今後内定企業様にも見学して頂くことを検討している。</p> <p>③学生指導・就職指導について</p> <p>1、2 年生の学生指導、就職指導についてライフマニュアルを使用し佐野より報告</p>				

※企業側からのご意見

Q:就職活動が始まる時期はいつごろか？

A:最近では1年時の1月頃から活動が始まっている。

Q:在学性にキャリアデザイン等の指導はしているのか？

A:入学時より段階を追って就職行事の機会を使用し実施しているが個別により詳しく指導することも課題としたい。

Q:1年生と2年生の資質についての違いはあるか？

A:毎年入学してくる学生の質は異なるため、学校側も様々な学生に対応できるスキルを向上させる必要がある。職員の指導力も個人差があるため研修機会などを使用し能力向上に努めることが課題である。

Q:1年生中退率が高い理由は何故か？また、どのような対策をしているのか？

A:過去5年間と比較しても著しく高い中退率だったが、例年に比べ身体的、経済的理由による退学が多く見られた。また、職員の経験値が浅い事も理由と考えられる。

(3)今後の企業連携について

現在のカリキュラムで企業からの講師を派遣している授業の内容確認や報告シラバスを見ながら佐野より説明し今後導入が可能である連携について協議した。

※企業側からのご意見

Q:職員の指導力を向上するためにどういった取り組みをしているか？

A:主に自身が指導する科目を中心に外部での講座などを自主的に習得しているが、個人差がある。学園内の研修では主に指導者としての「考え方」や「リーダーシップ」の研修が目立つ。企業側がどういった研修を社員に実施しているのか、見学することを検討してほしい。

→企業内での研修をいくつかご提案頂き、参加させて頂く予定となった。

配布資料

- ①ライフマニュアル
- ②シラバス
- ③学校パンフレット
- ④職業実践専門課程関連資料
- ⑤その他

以上

6-5. 教職員研修

今年度の研修方針

(1) 学園研修

自分自身のあり方やリーダーシップの発揮の仕方を見つめ直し、長期的・継続的に望む結果を出す。組織づくりの原則を考え、行動し、習慣化することを目的として「7つの習慣」について引き続き研修を実施する。学園研修を通して、自分自身の人生を“長期的、継続的に好ましい状態”へと導くことを目指していく。

(2) 学校研修

職業教育する立場として、自らの行動・指導を改めて振り返り、仕事の魅力を伝えられるようにする。

2. 研修実績

月/日	目的*	タイトル	場 所	対 象	内 容
3/31	指導	新入教職員研修	学校	新入教職員	学生対応
4/1	職員	新入教職員研修	学校	新入教職員	就業規則等
4/29	職員	7つの習慣	都内ホテル	全教職員	相互理解と協力の習慣
5/19	職員	教育 IT ソリューション	東京都	総務	アクティブラーニング
8/9	職員	学校法人会計基礎講座	商工会議所	総務	財務・経理の知識
8/12	職員	カラーセラピスト講座	学校	教務	スキル向上
8/19	職員	学校法人会計基準研修	教育会館	総務	会計基準の見直し
8/22	職員	やる気を引き出す授業	学校	職員	学生指導
9/5・9/6	職員	リーダー・管理職研修	東京都	室長・リーダー	リーダーシップ
10/11	職員	リーダー・管理職研修	東京都	室長・リーダー	部下指導
11/7	職員	リーダー・管理職研修	東京都	室長・リーダー	利益・係数
11/9	職員	サイバーセキュリティ セミナー	東京都	総務	サイバーセキュリティ
11/15	職員	ヒューマンソリューション フェア	千葉県	総務	IT 業界動向と知識
11/26	職員	マネジメントスキル	学校	管理職	共感と質問
12/7	職員	管理者研修	東京都	管理職	職業専門大学
2/9・2/10	職員	実践ソリューション フェア	東京都	総務	IT 業界動向と知識
3/22	職員	マネジメントスキル	学校	管理職	フォローアップ
3/27	職員	メンタルヘルス研修	千葉県	教務	学生対応

* 専門・・・専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため
 指導・・・授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため
 職員・・・役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

6-6. 教職員・講師

専任教員 11名
 職員 5名
 非常勤教員 27名

7. 学生支援

7-1. SAM活動及びクラブ活動

SAM規程

1. 名称

この会は、中村学園の学生から選ばれたメンバーと学園から任命された職員により構成され、名称を School Activity Members といい、略してSAM(サム)と称する。

2. 目的

中村学園の学生が、明るく元気で活力のある学生生活を送るために ITH・AIK・AIE・JHM・HPY 5校の学生と学園の教職員でSAMを結成し、教職員は学生の自主活動の促進を図り、学生は自主活動により各種イベントの企画運営、クラブ活動、ボランティア活動の活性化を図る。

3. 基本活動目標

- (1) クラブ活動の活性化を図る。
- (2) ボランティア活動の推進を図る。
- (3) 学生の自主活動としての行事を策定し、運営実行を行えるよう企画立案を行う。

4. 組織

- (1) 各クラブよりSAM担当メンバーを1名選出する。
- (2) 各学校のクラスよりSAM担当メンバーを2名選出する。
- (3) 会長1名、副会長・書記・会計の役員を11名おく。
- (4) 行事・広報・クラブ・ボランティアの各委員を編成し、年度活動計画を策定する。
- (5) 学園はSAM活動を支援するため教職員をSAM職として配属する。

5. 任期

- (1) SAMメンバーの任期は、1年とする。
- (2) 期間は年度の5月下旬に組織され、翌年度の第一回SAM会議前日までとする。ただし2年生の学生は卒業で役割を終える。

6. 運営

- (1) SAM会議は、原則として毎月1回行う。
- (2) 組織結成と役員を選出、年間活動計画案策定のため、5月に第一回SAM会議を行う。
- (3) 会長の職務を補佐するために、役員会議を随時開催する。
- (4) 各既存クラブや新規クラブ募集の支援を行い、クラブ確定後にクラブの年間予算の管理を行う。
- (5) SAM主催のボランティア活動を年数回行う。
- (6) クラブ活動やボランティア活動の情報を学生に伝達し、参加を促す。

(7) SAM運営の行事は、7月までに企画案を立て学園の承認を持って実行する。

7. 予算

- (1) SAMの年間総予算は、クラブ運営予算<年度の在籍学生数×1,500円>及びイベント活動予算<年度の在籍学生数×1,500円>で構成される。
- (2) クラブ活動予算は、年度当初に総額が決定され、各クラブの年間活動計画等を参考にして配分方法を立て、SAM職代表の承認を得る。
- (3) 予算の執行は会長が責任を持って行い、会計の執行手続きについてはSAM職リーダーの指示に従い会計が執り行なう。

クラブ名と員数

クラブ名	2014年度					2015年度					2016年度					
	ITH	AIK	AIE	HPY	計	ITH	AIK	AIE JHM	HPY	計	ITH	AIK	AIE	HPY	JHM	計
バドミントン	36	25	2	0	63	34	4	2	8	48	26	9	14	5	0	54
サッカー(男女)	28	18	6	1	53	34	22	8	2	66	48	11	6	5	0	70
野球	20	4	1	0	25	24	4	1	1	30	29	9	2	1	0	41
バレーボール	15	21	1	0	37	17	11	13	3	44	39	17	11	4	0	71
男女バスケットボール	12	31	4	0	47	21	28	23	0	72	24	21	2	7	0	54
テニス	8	27	2	0	37	21	9	1	1	32	14	9	0	1	0	24
マラソン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	0	5	0	16
カテル研究	28	8	0	0	36	69	6	3	15	93	80	0	2	5	0	87
動物里親	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	32	0	0	0	32
軽音楽	15	18	9	3	45	17	17	12	5	51	5	20	2	1	1	29
アウトドア	121	15	6	0	142	146	2	9	3	160	71	0	1	0	0	72
ドッグスポーツ	0	44	0	0	35	7	41	4	0	52	4	16	3	0	0	23
シネマ	1	54	0	0	55	10	35	0	2	47	8	27	0	2	0	37
チャリ	58	2	0	0	60	79	1	16	1	97	49	0	8	0	0	57
ダンス	17	10	8	3	38	39	3	20	0	62	29	6	13	7	5	60
美ューティ	1	0	29	0	32	3	0	26	0	29	0	0	62	0	0	62
アクア	0	16	0	0	16	2	10	0	0	12	1	10	0	0	0	11
クルージュパン	66	4	0	0	70	126	0	0	0	126	162	1	0	0	0	163
パーティシエ	6	9	4	0	19	24	5	2	0	31	7	3	0	0	0	10
フォト	0	14	0	0	14	6	19	0	0	25	6	8	0	0	0	14
テーマパーク	49	2	1	0	52	43	5	0	2	50	36	2	0	1	0	39
卓球	17	3	0	0	20	11	4	1	1	17	14	1	1	1	0	17
Job & Joy	0	0	65	0	65	0	0	63	0	63	0	0	0	0	89	89
ダイエット	21	0	0	0	21	14	3	2	0	19	13	4	0	0	0	17
みんなのゴルフ	26	0	2	0	28	12	4	0	0	16	22	2	0	0	0	24
計	554	350	141	7	1052	759	233	206	63	1261	697	209	127	45	95	1173

ITH：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

AIK：専門学校ちば愛犬動物フラワー学園

AIE：アイ エステティック専門学校

JHM：ジェイ ヘアメイク専門学校

HPY：ハッピースイーツ製菓専門学校

7-2. カウンセリング

- ・学生相談室を学園近隣に設置。
- ・毎週水曜日 15 時～19 時まで開設。
- ・学生は予約電話をカウンセラーの先生へかけて、相談日時を決定。
- ・学生への告知は4月のオリエンテーション時にカウンセラーの紹介と相談内容を説明。

8. 危機管理

視点：個人情報の保護、事故対策、防災対策、健康管理、苦情処理

項目	内容
16年度の実績	<p>1. 危機管理プロジェクト 担当：瀧・向山・安田・櫻井正・鈴木史・亀井・山内（宮寺）・川島克</p> <p>(1)内容</p> <ul style="list-style-type: none">①合同避難訓練計画と実施②非常・災害時備蓄品の確認③地震対策マニュアルの改訂④消防法に基づく対応の整備⑤緊急連絡先の更新と確認⑥積雪時の対応について <p>(2)日程</p> <ul style="list-style-type: none">①2016年5月30日(月)②2016年6月27日(月)③2016年7月27日(水)④2016年9月15日(木)⑤2016年10月31日(月)⑥2016年11月30日(水) <p>2. 中村学園合同避難訓練の実施</p> <p>(1)実施日：事前訓練 2016年11月7日(月)～11月11日(金) 実践訓練 2015年11月15日(火) 11時11分発災 事後訓練 2015年11月16日(水)～11月30日(水)</p> <p>(2)参加人数：1,219名（学生）</p> <p>(3)目的：命を守る初動訓練</p> <p>(4)訓練項目：</p> <ul style="list-style-type: none">・状況に合わせた自己の安全確保方法・学生と教職社員の連携による安否確認方法の確認・大規模震災時の教職社員の初期対応の確認・各校の災害対策室と災害対策本部の情報連絡方法の確認

	<p>(5)反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート用紙フォーマット修正箇所（教室名欄・英語表記など） ・全学園一斉連絡用の無線機の整備 ・緊急放送の入らない教室 <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備資料の不備（旧レポート用紙の混入や集計表クラス記載漏れ） ・集計数カウント記載ミス ・低年齢児の誘導に時間がかかった <p>3. 学生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ、ノロウイルス予防啓蒙 ・防災啓蒙活動 ・SNS 利用における学生への指導 ・薬物の危険性における学生への指導 <p>4. 職員実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いに関する注意喚起。 ・健康診断実施＜2016年4月1日(金)、2016年4月8日(金)＞ ・サイバーパトロールの実施 <p>5. 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設防犯カメラによる監視活動 ・消防点検 ・防災備蓄品の整備 ・救急医療セットの整備 ・各施設AED定期点検 ・夜間有人警備（合同校舎）
今後の取組	<p>危機管理対策として学生・教職員・講師への一斉連絡システム(オクレンジャー)の登録と閲覧の徹底。</p> <p>SNS への書き込みへの注意喚起。</p>

9. 国際連携・地域貢献等

視点：国際連携や地域貢献、新規導入行事等の活動

地域貢献・行事

外部ボランティア

福祉施設を訪問し、利用者の希望に合わせたハンドマッサージ等を実施

学内サロン運営

授業内でサロン運営を実施し、一般客に施術を実施

10. 自己評価

10-1. 学校の教育目標

【教育理念】

ホスピタリティ豊かな、世界に通用する技術をもった人材の育成

ホスピタリティとは、お客様を「心からおもてなしする気持ち・心配り・思いやり」を意味します。

【教育方針】

①美容関連の接客サービス業にふさわしいホスピタリティマインドを持った人材の育成

②美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成

【教育システム】

「教室は仕事場である」という考えのもと2年間で4つのステップに分け段階的に教育方針に沿った人材育成をしていきます。

1年前期→ 言われたことができる人になる

1年後期→ 言われなくてもできる人になる

2年前期→ 人から真似される人になる

2年後期→ 仕事を分け合える人になる

【指導目標】

社会が期待する学生像を指導の目標として6項目を特に習得させる指導をしています。

礼儀…いつでも、どこでも挨拶が出来き正しい敬語で話せる学生

コミュニケーション能力…笑顔で積極的にコミュニケーションをとり、相互理解のできる学生

協調性…周囲の空気を読み、チームワークを大切にする学生

自己管理…時間や体調の管理ができる学生

自立…自分で考え行動できる学生

向上心…目標を持ち、その目標に向かって努力できる学生

10-2. 2016年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

今年度、AIEの最重要課題は、エステコースのカリキュラム立て直しを目標としています。

競合校の進出、マーケット縮小などの条件も重なる中、昨年エステコースの募集は、近年で最も落ち込み、他コースでの挽回も厳しい結果となっており今一度、原点に立ち戻り、且つ現在のニーズにあった教育内容・募集活動を再構築していくことを最重要課題としております。

10-3. 評価項目の達成及び取り組み状況

1. 教育理念・目標			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	入学案内書
1	2	学校の将来構想を描くために、 業界の動向やニーズを調査しているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会 会議事録
1	3	教育目標、育成人材像は、学科等に対応 する業界のニーズに向けて方向づけら れているか	④ 3 2 1	入学案内書
1	4	学校における職業教育の特色は 明確になっているか	④ 3 2 1	入学案内書
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想 などが生徒・保護者等に周知されてい るか	4 ③ 2 1	入学案内書 保護者宛て配布資 料(学務だより)

① 現状と課題

・本校開校(年)以来美容を中心とした様々な関連職業教育とホスピタリティ教育に取り組んでまいりました。「インナービューティ」をキーワードにトータルビューティ関連のコースを発足し、将来さらに幅広い分野で活躍できるよう専門教育に携わっています・パンフレット(入学案内書)やホームページにはこれらを明記しており、また学生に対しては学校説明会や入学前登校、入学時オリエンテーション、日常指導の中でも伝えていきます。

・業界全体に対して直接アピールする機会は年に1度の交流会程度で、まだ本校からの情報発信が必要と思います。

今後の取り組みとしては、入学後の保護者説明会を開催し情報発信をし、本校の理念や教育方針を周知し、保護者との協調体制を確立させることが課題とされます

② 今後の改善方策

企業実習、就職受け入れ企業に対し、本校の特徴と併せて周知を行えるようホームページの充実や交流の機会を増やす。効果的な保護者への情報発信と協力要請策を研究する。

③ 特記事項

特になし。

2. 学校運営			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程 の認定要件に沿った適切な運営がなされ ているか	4 3 ② 1	
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等におい て明確化されているか、有効に機能してい るか	④ 3 2 1	組織図 職務分掌

2	3	教務・財務等の組織設備など意思決定システムは設備されているか	④ 3 2 1	組織図 室長・リーダー 会議議事録 各室会議議事録
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	重点方針
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	重点方針
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	就業規則 給与規定
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	④ 3 2 1	講師会議資料、 議事録
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1	近隣連携
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	情報公開資料
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	デスクネット Nacs オクレンジャー
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4 ③ 2 1	自己点検
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	危機管理ミーティング議事録
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 ③ 2 1	オリテン資料 学生相談窓口 (5F職員室)

① 現状と課題

・法人全体では長期事業計画を立て、それに伴い中期事業計画を立てています。本校はそれをもとに毎年の事業計画を策定しています。本校は中期及び年度の単位の事業計画に基づいた学校運営を行っています。本校における事業計画は事業本部長がこれを定め、職員会議を最高決定機関とし、その中で教育の責任者がそれぞれのコースの目標、役割を明確にしつつ、部門同士の連携を図りながら運営を行っています。

・人事や処遇に関する規程については常勤職員の採用及び人事等は学校法人中村学園の運営本部が管轄し、また非常勤講師の採用については法人に属する各校が管轄しています。

常勤者の処遇については運営本部また事業本部の要員計画に基づいて契約内容を決め、採用し、人事考課制度に基づいて、これらとの連動により昇進、昇給及び賃金規定を決めています。

・情報公開については自己点検、自己評価、財務情報は、ホームページで公開しております。

② 今後の改善方策

人事・給与に関する規程については、法人全体で統一されていますが、毎年の人事考課のシステムについては継続課題として取り組んでいる最中であり、今後もさらに公正かつ適切で明確な処遇に改善する方針です。

③ 特記事項

特になし。

3. 教育活動			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1	入学案内書 ライフマニュアル
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1	教育課程編成委員会 議事録 シラバス
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1	教育課程編成委員会 議事録 ライフマニュアル カリキュラム
3	4	美容系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 (3) 2 1	教育課程編成委員会 議事録 ライフマニュアル カリキュラム
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 (3) 2 1	ライセンス一覧 シラバス
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1	教育課程編成委員会 議事録 カリキュラム シラバス
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4 (3) 2 1	シラバス
3	8	美容系関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 (3) 2 1	インターンシップ の取扱いに関する 協定書 講師契約書
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4 (3) 2 1	シラバス
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	(4) 3 2 1	時間割 校舎配置図
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	(4) 3 2 1	授業改善アンケート 授業報告書
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1	シラバス ライフマニュアル
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 (2) 1	
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (3) 2 1	授業改善アンケート 授業報告書

3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4 (3) 2 1	Nacs の閲覧制限
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	(4) 3 2 1	授業報告書 教務会議議事録 職員会議議事録 学園生活アンケート 授業改善アンケート
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 (3) 2 1	履歴書 職務経歴書
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4 3 (2) 1	授業報告書 資格取得・研修制度
3	19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	(4) 3 2 1	研修申請書 研修報告書
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	(4) 3 2 1	研修申請書 研修報告書
3	21	美容系関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行なわれているか	4 (3) 2 1	各協会加盟の証明書・契約書

① 現状と課題

・本校では教育理念、教育方針に沿った教育課程を編成し、就職においては人材ニーズの把握、明確化に努め、目指す人材像はもとより、学習到達目標やカリキュラムの体系化を含め、教育計画の見直しを定期的に行っています。各コースの特色に基づき、毎年教育目標を見直し、目標達成に向けた重点目標及び年間計画を策定しています。年度中間期、また終了時に目標達成状況を確認し、改善すべき事項が発生した際には、原因を究明し、活動計画の見直しや教育内容の改善に努めています。また、年2回の各学科教育課程編成委員会を新たに設け、現行カリキュラムの確認と次年度のカリキュラムに関する意見交換を行っています。

・キャリア教育・実践的職業教育については、毎週の授業（就職ガイド・ビジネスマナー）の他、就職セミナー、学内サロンを確立し、定期的実践教育の場を提供しています。

・授業評価と改善については、前期・後期終了時の各1回に学生からの「授業改善アンケート」を実施しています。個々の教職員・講師の授業評価をもとに授業の改善、カリキュラムの改善に努めています。また学年終了時に「学園生活アンケート」を実施し、総合的な学生評価をもとに教育プログラムのみならず施設、教職員の意識等の改善に努めています。

・教職員の確保と能力開発については、継続的な授業評価にもとづき、各コースに必要な教職員を定期的に確保しています。年初準備にあたり、各教職員からのシラバス（授業計画書）を義務付けし、教務室長がそれを確認し、授業運営、学習成果等を指導しています。

・教職員の研修については、各コースの専門性に特化した外部研修や学校施設を利用しての内部研修を中心に
行い、法人全体における研修も定期的を実施しています。

② 今後の改善方策

- ・カリキュラムや教育方法等については、「教育課程編成委員会」において定期的な評価、改善を図っていきま
す。
- ・人間力と技術力・ホスピタリティ精神を併せ持つ指導者の確保に努めます。
- ・企業インターンシップ制度を確立する為カリキュラムの見直しや企業の選定調査を進めて参ります。

③ 特記事項

- ・特になし。

4.学修成果		適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
4	1	4 (3) 2 1	シラバス
4	2	4 (3) 2 1	N a c s 機関誌
4	3	4 (3) 2 1	授業運営ガイド ライン シラバス
4	4	4 (3) 2 1	授業改善アンケート 学園生活アンケート 授業報告書 人事考課表
4	5	(4) 3 2 1	成績証明書
4	6	4 (3) 2 1	シラバス 授業評価報告書
4	7	4 (3) 2 1	インターンシッ プ依頼書
4	8	4 3 (2) 1	

① 現状と課題

- ・就職率の向上については組織に就職担当と2年生担任が連携しコース別に対応しています。また、学生一人一
人の希望に応じて、計画的に就職指導を行っています。就職指導者は、企業からの求人内容と学生の相性や適

性を含め、最適な就職先が選定できるよう個別に指導しています。また本校全体において開催する就職ガイダンスをはじめ、卒業生や企業採用担当者を招聘してのセミナー、企業や専門関連団体が主催するイベントなど学内外を通じ開催しており、体系的に学生の就職意識の高揚と活動を支援しています。

- ・資格取得率の向上については、コース別に目標資格を定め、入学から卒業までの間に取得できるように計画を立て、体系的な指導のもとに、学生が効果的に資格取得できるように努めています。

② 今後の改善方策

- ・卒業生の社会的な活躍及び評価については、組織的に運営を行っていないため、細かな部分までの把握には至っていない状況です。卒業生情報把握の具体的な方法を組織的に検討します。

③ 特記事項

- ・特になし

5. 学生支援			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	お仕事紹介ガイドブック
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	入学案内書
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1	保護者説明会資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1	夜間部
5	5	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1	入学案内
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④ 3 2 1	入学案内
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	学費サポート制度書面
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	環境エコ・美化担当者 カウンセラー
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	SAM 規約
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	提携学生寮案内 運転免許センター紹介文書 アルバイト紹介
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1	高校訪問時の模擬授業 マナー指導 がイダンス依頼書

① 現状と課題

- ・就職及び学生相談に関する支援体制については、本校では教務・就職室のもと、業界経験を持つ就職担当者と、各クラス担任を配置し、一人一人の志望と能力・適性に合わせ進路指導と学生相談を行っています。特に2年生については、就職担当者とクラス担任が、学生の適性を十分に把握した教職員が就職指導を行っています。
- ・学生の経済的支援や生活全般に関する支援体制については、本校では自宅外通学者もおり、また経済的困難者が増加する中で、一人暮らし応援制度、特待生制度等、生活面・経済面等全般的な支援体制の整備に心掛けています。

② 今後の改善方策

- ・卒業生への支援体制については、個々に相談のある場合、随時相談と就職斡旋を行っています。組織的な情報発信までには至っておりません。今後、卒業生のニーズを調査・研究し、この部分における質を高めていきたいです。

③ 特記事項

- ・特になし。

6.教育環境			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 (3) 2 1	設備・備品一覧表 教員一覧表
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4 (3) 2 1	業者関連 記録・報告書 教材・設備管理表
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4 (3) 2 1	第一回講師会議 資料 避難訓練概要
6	4	防災に対する体制は整備されているか	(4) 3 2 1	中村学園災害対策マニュアル
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1	国内研修工程表

① 現状と課題

- ・施設・設備については専門学校の設置基準に基づき、学生が快適に日々の学習に専念できる環境を確保しています。
- ・施設・設備のメンテナンスに関しては、各教科担当者が対応します。外部業者が必要な案件に関しては法人総務部で総合的に対応しています。
- ・防災に対する体制については毎年法令に基づいた防災訓練（避難訓練）を実施しています。法人独自の防災マニュアルを作成し、それに従った要員の配置と役割の明確化により行っています。さらに学校独自の緊急時無線連絡システムや地震速報システムの情報提供体制や帰宅支援用品、備蓄品の整備も順次取り組んでおります。

② 今後の改善方策

- ・マニュアルの整備促進と職員への周知徹底。初動訓練と防災備品の充実を目指しています。

③ 特記事項

- ・特になし。

7.学生の受入れ募集		適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
7	1	④ 3 2 1	願書 誓約書
7	2	④ 3 2 1	願書
7	3	④ 3 2 1	入学案内書 募集要項
7	4	④ 3 2 1	募集要項
7	5	4 ③ 2 1	入学案内書
7	6	④ 3 2 1	入学案内書 公式ガイドブック
7	7	4 3 ② 1	
7	8	4 ③ 2 1	入学案内
7	9	④ 3 2 1	募集要項 公式ガイドブック

① 現状と課題

- ・学生募集については、その内容や手法において教育機関としての節度を持ち、適正に行うよう努めています。広報に用いるパンフレットや Web サイトは、教育内容、就職状況等が、学生や保護者の立場からわかりやすく理解できることを常に意識し、作成しています。
- ・入学選考については適正且つ公平に行うため、入学募集要項に入学選考方法の基準を記載しています。
- ・学納金については理事会・評議員会において、各課程・学科における入学金、授業料、実習費等の学納金が、学生の人数、教育内容、教育環境に照らし妥当なものであるか等の検討を経て、決定しています。

② 今後の改善方策

- ・学生募集における教育成果については、業界についての具体的な情報は伝えており、また教育内容についても主となる実習授業や目指す取得資格の説明を行っていますが、具体的な教育効果、能力開発レベルの具体的説明までには至っていません。さらに学力低下や経済的困窮家庭の学生層増加が著しい環境下での適正な募集活動の研究が課題であります。

③ 特記事項

- ・特になし。

8.教育の内部質保証システム			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 (3) 2 1	学生管理システムの閲覧制限
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 (3) 2 1	運営会議
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 3 (2) 1	デスクネット文書管理システム
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 (2) 1	自己点検
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 3 (2) 1	
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 3 (2) 1	
8	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4 3 (2) 1	
8	8	自己点検・評価結果を公開しているか	(4) 3 2 1	情報公開資料

① 現状と課題

- ・本校におけるコンプライアンスについては学校法人の運営本部が法律の専門家を顧問として配置し、新制度や規則の制定、各種届出などの際に様々な角度から確認を行う等、法律等を遵守する体制を構築しています。
- ・個人情報については、学校に必要な個人情報の保護を事業本部主導のもと、年2回開催している講師会議において、常勤、非常勤教職員とともに注意喚起を行い、個人情報の保護に努めています。
- ・自己評価の取扱については、今年度第三者機関による評価を実施予定です。

② 今後の改善方策

- ・自己点検・自己評価につき、学校関係者評価委員会により評価・改善を行ってまいります。個人情報の保護に関しては常時ガイドラインの見直しを図ってまいります。

③ 特記事項

- ・特になし。

9.財務			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1	会計監査
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1	情報公開資料
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1	決算書
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1	予算書 収入見込み

① 現状と課題

- ・本校では学園本部と学校事業本部が連携し、学校の財務基盤について中期計画を立て、執行状況に関しては毎

年半期ごとの理事会・評議員会の確認を経て財務状況、資産内容や資金内容の管理を行っています。

- ・予算・収支計画については、中期計画、年度計画に基づいて執行しています。予算・収支の総額及び収支各項目の妥当性は、理事会・評議員会において確認がなされ、予算の問題点や今後の動向については業務組織に対する指摘が行われます。
- ・会計監査については半期ごとに2回、監事による会計監査と監査法人による会計監査を適正に行っており、理事会・評議員会に報告しています。
- ・財務状況の公開については、自己点検・自己評価を公開するにあたり、財務状況の公開も行っています。

② 今後の改善方策

- ・全国規模の募集活動、また潜在的需要が見込まれる新分野の研究に努めていきます。

③ 特記事項

- ・特になし。

10.社会貢献・地域貢献			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	施設貸出、 KHP 講師セミナー 老人ホーム ボランティア概要
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	外部イベント スタッフ派遣
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	

① 現状と課題

- ・学校の教育資源や施設の活用については、通常授業、学校行事に影響の及ばない範囲で外部の諸関連団体に施設・設備の貸し出しを行っています。
- ・キッズハッピープロジェクトという名称で、小学生を対象に動物のお仕事体験を無償で行っています。
- ・近隣の中学校を対象に職場体験の受入れを積極的に行っています。
- ・学生のボランティア活動については、近隣高齢者施設への訪問し施術提供を積極的に取り組んでおります。

② 今後の改善方策

- ・地域に対する公開講座や教育訓練の受託等の貢献活動については積極的実施には至っておりません。今後その体制が組織的に構築できるか検討していきます。

③ 特記事項

- ・特になし。

11.国際交流			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1	
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 ② 1	

11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	②	1	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	②	1	

① 現状と課題

本校では外国人留学生の積極的受け入れは行っておりません。技術指導中心の授業がコミュニケーションという壁の大きな障害となる事と、卒業後の国内での就労ビザ取得が不可能に近い事が理由に挙げられます。

今後の改善策

言語コミュニケーション力のある技術指導者の配置。外国籍の専門業界への就労環境の開拓。

② 特記事項

・特になし。